

会社の概要 (2023年9月30日現在)

会社名	株式会社TOKAI ホールディングス
設立	2011年4月1日
資本金	140億円
従業員数	4,701名(連結)
事業内容	エネルギー事業、情報通信事業等 を行う子会社等の経営管理および それに付帯または関連する業務

役員 (2023年9月30日現在)

取締役

代表取締役社長(CEO)	小栗 勝 男
代表取締役常務執行役員	山田 潤 一
取締役(非常勤)	福田 安 広
取締役(非常勤)	鈴木 光 速
取締役(非常勤)	浜崎 貢
取締役(社外)	曾根 正 弘
取締役(社外)	後藤 正 博
取締役(社外)	河島 伸 子
取締役(社外)	上田 亮 子

監査役

常勤監査役	石間 尚 雄
監査役(社外)	雨 貝 二 郎
監査役(社外)	伊 東 義 雄
監査役(社外)	渥 美 雅 之
監査役(社外)	松 淵 敏 朗

株式の状況 (2023年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	300,000,000 株
発行済株式総数	139,679,977 株
1単元株式数	100 株
株主数	129,644 名

株式会社TOKAIホールディングス

本社 〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8
東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20

大株主〔上位10名〕 (2023年9月30日現在)

株主名	株式数(株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,992,500	9.89
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	7,559,820	5.76
鈴与商事株式会社	5,799,700	4.42
株式会社静岡銀行	4,065,527	3.10
東京海上日動火災保険株式会社	3,986,887	3.04
TOKAIグループ従業員持株会	3,866,901	2.94
三井住友信託銀行株式会社	3,816,000	2.91
株式会社みずほ銀行	3,588,577	2.73
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,422,200	2.61
アストモスエネルギー株式会社	2,724,848	2.07

(注)自己株式8,324,019株は除いております。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	3月31日 なお中間配当を実施するときの基準日(株主確定日)は9月30日
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	3167
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120 - 782 - 031
公告方法	当社のホームページ(https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/) に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



TOKAIホールディングス

第13期 第2四半期 株主通信

2023年4月1日から2023年9月30日まで 証券コード: 3167



お客様のニーズに丹念に応えながら、サービスの充実、地域・社会への貢献を果たし、持続的な成長を実現してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第13期第2四半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の株主通信をお届けいたします。

当社グループは、1950年の創業以来、人々の生活や社会インフラに係る多種多様なサービスを提供しています。これらのサービスの広がり背景には、お客様のあらゆるニーズに応え、一心にお客様の喜びや満足度を高めたいと考える企業文化があります。お客様や地域の皆様に寄り添い、より安心・安全・充実なサービスを追求してまいります。

私たちの事業活動は、お客様をはじめ、株主、投資家、地域社会など多様なステークホルダーの皆様のご支援をいただいて成り立っています。株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長(CEO) 小栗勝男

第2四半期(連結累計期間)の業績について

**売上高は3期連続の増収で過去最高を更新
顧客件数も期首から大幅に増加しました**

当第2四半期は、円安の加速や長引くウクライナ情勢によるエネルギー価格の高騰が続いているものの、経済活動の正常化や各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、人手不足の深刻化や物価上昇の影響など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは新たに「中期経営計画2025」を策定し2023年5月に公表いたしました。2025年度までの3年間で、「成長の根源・基幹・果実」という3つの要素からなる成長ツリーに沿って各取り組みを推進し、サステナブルな社会への貢献を果たすとともに、持続的な成長を実現してまいります。こうした方針のもと、当第2四半期においては、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの一環として2023年7月に株式会社TOKAI(以下、TOKAI)が、フィリピンにおいて再生可能エネルギー発電事業を展開するPure Energy Holdings Corporationグループに出資いたしました。また、8月には新たに三重県伊勢市にLPガス販売の営業拠点を開設し、事業基盤の拡大について順調な成果をあげております。

当第2四半期の業績については、エネルギー、CATVなどの顧客件数増加などによる増収や、情報通信事業の法人向けストックビジネス拡大などにより、売上高1,052億円(前年同期比1.1%増)と、3期連続の増収を達成するとともに、過去最高を更新しました。

利益面については、高気温などによる家庭用ガス販売量の減少などがあった一方で、グループ顧客件数の増加などによる増益で、営業利益は43億円と前年同期と同水準となりました。また、前年同期に発生した持分法投資損失の負担が軽減されたことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億円(前年同期比1,403.4%増)と大幅に改善しました。

なお、グループの収益基盤である顧客件数は、中期経営計画の達成に向け、積極的な顧客獲得活動に取り組んだことにより、期首から28千件増加(前期は49千件増加)の3,328千件となりました。ガス事業(LP・都市ガス)をはじめ、CATV、情報通信(光コラボ、LIBMO)などの主力事業で純増し、収益基盤の更なる拡充を進捗させました。

通期の見通しについて

**売上高は過去最高を更新する計画
顧客件数の増加、エリア拡大を進めます**

通期の連結業績予想に変更はありません。売上高は主要事業を

当第2四半期実績

▶ 売上高

105,226
百万円

前年同期比 + **1.1%**

▶ 営業利益

4,254
百万円

前年同期比 + **0.0%**

▶ 経常利益

4,355
百万円

前年同期比 + **79.1%**

▶ 親会社株主に帰属する
四半期純利益

2,219
百万円

前年同期比 + **1,403.4%**

中心に引き続き顧客件数の増加および、エリア拡大によって、2,400億円(前期比4.3%増)を計画しています。一方、営業利益については、顧客獲得強化および人財活性化に向けたコストなどを織り込み、前期と同水準の150億円(同0.5%増)を見込んでいます。また、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、前期に発生した持分法投資損失の負担が軽減されることから、それぞれ150億円(同12.9%増)、85億円(同31.5%増)と大幅な改善を予想しています。

また、顧客件数については、前期末から84千件増加させ、3,384千件とする計画です。

【中期経営計画2025】を始動

激変する市場環境のなか 中長期的な企業成長を目指します

当社グループは2021年4月より、中期経営計画に取り組んできましたが、事業環境やお客様の価値観の急激な変化を受けて、2030年までに目指す姿について再整理し、今後3年間の取り組

みについて、2025年度を最終年度とする新たな「中期経営計画2025」を策定し、2023年5月よりスタートさせています。

2024年3月期は、「成長の根源・基幹・果実」の3つの要素からなる成長ツリーに沿って各取り組みを推進し、通期の業績は増収、増益を計画しております。最終目標である「果実」として、収益基盤の拡大と新サービスの展開を2本柱に、「事業収益力の成長」を目指します。また、この果実を实らせる「基幹」として「持続的成長基盤の強化」を、そして、これらを支える「根源」として、「人財・組織の活力最大化」を図っていきます。

当社グループにとっては大きな挑戦の3年になると認識しています。「中期経営計画2025」のもと、2030年の目標である「売上高4,000億円、営業利益300億円、顧客件数500万件」の実現に向けて、市場環境が変わるなかでも着実に収益を上げる企業として、ステークホルダーの皆様のご期待に応えるべく取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月期 業績予想

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想		
売上高 (百万円)	230,190	240,000	売上高	主要事業を中心に引き続き顧客件数の増加、 エリア拡大による増収を計画
営業利益(百万円)	14,919	15,000	営業利益	獲得強化および人財活性化に向けた コストなどを織り込むことで前期と同水準
顧客件数(千件)	3,299	3,384	顧客件数	価格競争力を維持した料金施策等により引き続き 顧客獲得を積極的に推進 84千件増加させ3,384千件を計画

TOPICS 1 株式会社TOKAI

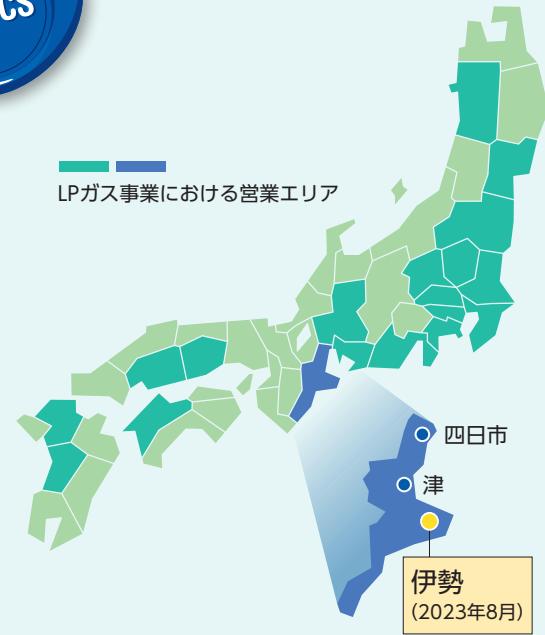
三重県伊勢市に営業拠点を開設 同県主要エリアを商圏に

株式会社TOKAIは、LPガスの営業エリア展開として、2023年8月に三重県伊勢市に営業拠点を開設いたしました。

当社グループは、積極的な事業拡大に向けて、事業基盤が強固な静岡県や関東圏から日本全国へと営業エリアを拡大する戦略をとっており、LPガス事業は現在、1都18県で76万件のお客様にご利用いただいております。

この度、グループとして三重県では3拠点目となる営業拠点を伊勢市に開設したことで、既に営業を行っている四日市、津エリアを合わせ、三重県の主要エリアを商圏とすることができました。

今後、同県全域において、LPガスをはじめとする当社グループの商材・サービスをご利用いただく機会の創出につなげてまいります。



TOPICS 2 東海ガス株式会社

静岡県藤枝市の地域活性化に向けた取り組み ～「びく石山 静かな夜のキャンプ場(仮称)」起工式の開催～

東海ガス株式会社(以下、東海ガス)が、静岡県藤枝市の地域活性化プロジェクトに呼応し、同市に新たなキャンプ場の開設を計画しており、2023年9月、その起工式を執り行い、無事着工いたしました。

東海ガスは、静岡県中部の焼津市・藤枝市・島田市などで都市ガスを主体に、LPガスの供給、リフォームなどの事業を行い、お客様の生活および地域と密着したサービスを提供しています。地域密着型の事業者として、地域における基幹インフラ提供者の役割を強化していくとともに、地方創生や、地域住民の生活の質を向上させる事業者として信頼と地位を確立してまいります。



起工式の様子



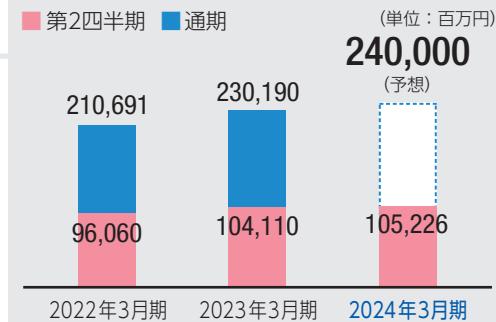
売上高は3期連続の増収で過去最高を更新、顧客基盤も順調に拡大



3期連続の増収で過去最高更新

売上高
105,226 百万円

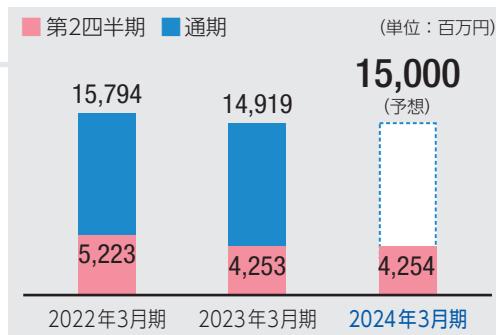
エネルギー、CATVなどの事業における顧客件数増加などによる増収や、情報通信事業の法人向けストックビジネス拡大などにより、3期連続の増収となり過去最高を更新しました。



前年と同水準で推移

営業利益
4,254 百万円

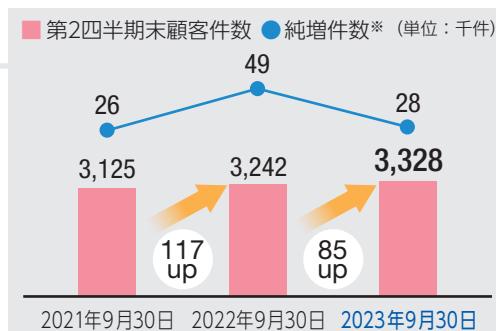
エネルギーは高気温などによる家庭用ガス販売量の減少などによる減益があった一方で、情報通信事業はコンシューマー向け事業で顧客獲得費用を抑制したことなどにより増益、CATV、アクアは顧客件数の増加などによる増益で、前年と同水準となりました。



主力事業が堅調に顧客基盤を拡大

顧客基盤
3,328 千件

積極的な顧客獲得活動に取り組んだことにより、ガス事業(LP・都市ガス)をはじめ、CATV、情報通信(光コラボ、LIBMO)などの主力事業で順調に顧客数を増やし、期首から2万8千件増加しました。

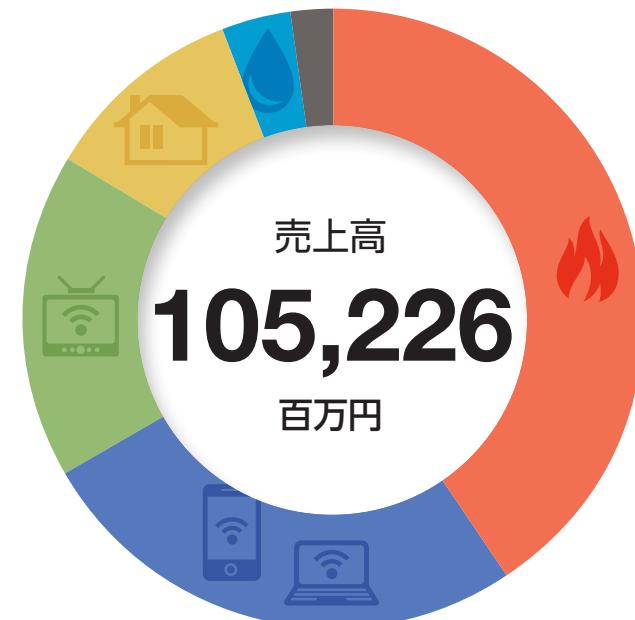


*4月1日から9月30日の6か月間

私たちは、さまざまな生活インフラサービスを提供することで、お客様の快適な生活を総合的、かつきめ細やかにサポートしています。

その他
売上高 **2,257** 百万円
構成比 **2.1** %
主要な事業内容
婚礼催事、船舶修繕、介護、保険等多彩なサービスを提供しています。

アクア
売上高 **3,883** 百万円
構成比 **3.7** %
主要な事業内容
安全な水と安心のサービスをご家庭にお届けしています。



建築設備不動産
売上高 **10,943** 百万円
構成比 **10.4** %
主要な事業内容
人とエネルギーに深く関わってきたTOKAIグループだからこそできる街づくり・住まいづくりを行っています。

CATV
売上高 **17,732** 百万円
構成比 **16.9** %
主要な事業内容
地域に根ざした放送・通信サービスの提供を通して、コミュニティを創造しています。

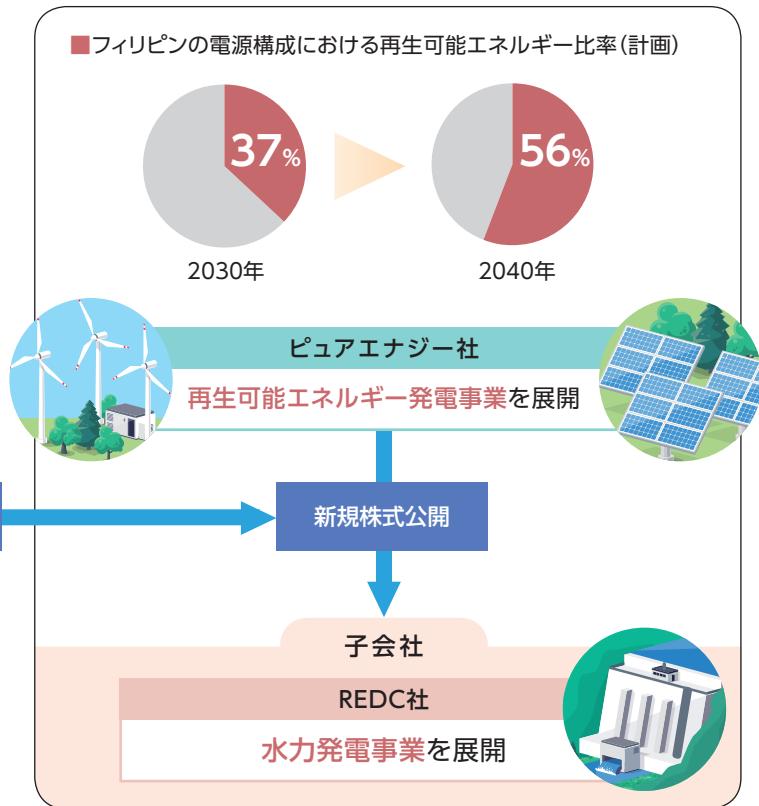
エネルギー
売上高 **42,952** 百万円
構成比 **40.8** %
主要な事業内容
暮らしに欠かすことができないガス・電気を中心に、環境に配慮したエネルギーインフラを安定的かつ安全に供給しています。

情報通信
売上高 **27,457** 百万円
構成比 **26.1** %
主要な事業内容
個人・法人のお客様に安心かつ便利なインフラとソリューションを提供しています。

フィリピン ピュアエナジーグループへの出資

フィリピン再生可能エネルギー市場の更なる発展とインフラ基盤の充実に貢献

2023年7月、TOKAIが、Pure Energy Holdings Corporation(本社:フィリピン共和国マニラ市。以下、ピュアエナジー社)の子会社で、REPOWER ENERGY DEVELOPMENT CORPORATION(本社:同国マニラ市、以下、REDC社)による新規株式公開(IPO)に参加し、出資いたしました。



目指すシナジー

REDC社

TOKAI

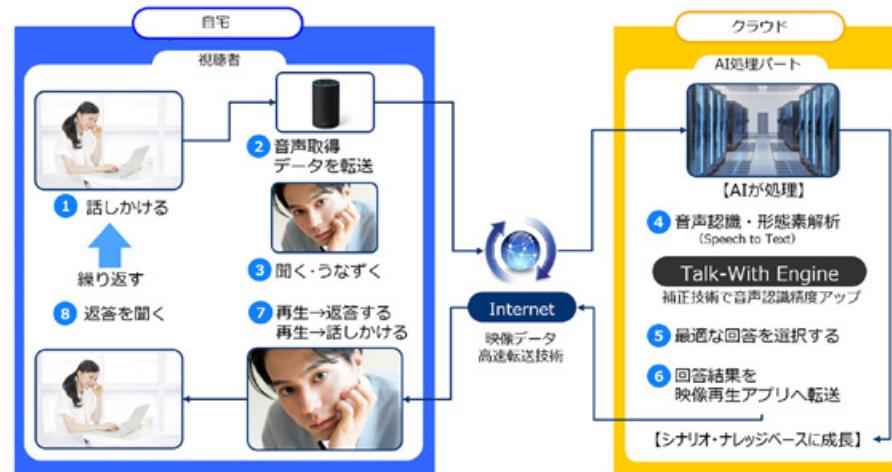
- 同国内において再生可能エネルギーへの移行が積極的に推進されている
- IPOによる資金調達により水力発電事業の更なる拡大を図る
- フィリピンの再生可能エネルギー市場は非常に魅力あるマーケット
- 同国の再生可能エネルギー市場の更なる発展とインフラ基盤の充実に貢献
- グリーントランスフォーメーションの推進と事業の更なる付加価値向上

株式会社シルバコンパスへの出資と連携

Talk Withを活用した対人業務の高度化や新サービス創出を図る

2023年9月、株式会社TOKAIベンチャーキャピタル&インキュベーション(以下、TVC&I)は、AI映像対話システム「Talk With」の開発・販売を行う株式会社シルバコンパス(本社:静岡県浜松市、代表取締役:安田 晴彦、以下、シルバコンパス)に出資いたしました。

 **第31回静岡県ニュービジネス大賞受賞**



特徴

AIを使って、「まるで目の前の人と話をしているような」自然な対話体験を実現します

活躍場面

企業や医療施設などでの対人業務への活用や、エンターテインメント分野におけるサービス展開が期待されています

複数のAIがユーザーの声に合わせて映像制御を行い、自然対話を演出します。

シルバコンパス提供

目指すシナジー

シルバコンパス

TVC&I

- Talk Withのクラウド版を開発
- BtoC向けのエンターテインメントサービスやヘルスケアサービスの販売展開
- シルバコンパスとのパートナーシップの確立
- Talk Withを活用したTOKAIグループ各事業分野における対人業務の高度化
- 332.8万件のお客様に提供する新サービス創出

株主優待品はインターネットからのお申し込みをおすすめします

優待品のお申し込み方法として、従来のハガキによるお申し込みに加え、インターネットからもお申し込みができます。ぜひご利用ください。お申し込み方法は11月末にお届けしました「株主優待制度のご案内」をご参照ください。

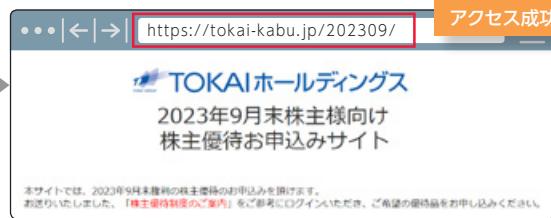
インターネット申し込み
3つのメリット

- 1 申し込みが簡単! 受付が早い!
- 2 発送が早い!
- 3 申し込み内容の確認ができる!

株主優待お申し込みサイトにアクセス

検索サイトで **TOKAI 優待** を検索して、
<https://tokai-kabu.jp/202309/> にアクセス。

または右記のQRコードをスキャンし
アクセスしてください。



この画面が
表示されたら
アクセス成功

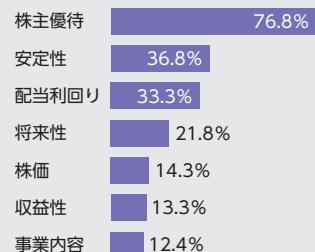
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

株主の皆様への アンケート結果 のご報告

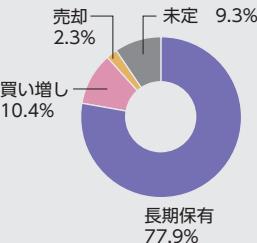
第12期株主通信にてご案内させていただきました「株主様アンケート」は、**41,248名(34%)**の株主の皆様からご回答をお寄せいただきました。ご回答いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。この度、頂戴いたしましたご意見を真摯に受け止め、今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。ここに、アンケートの集計結果(一部)を報告させていただきます。

Q1 当社株式を購入した理由と、保有方針を教えてください。

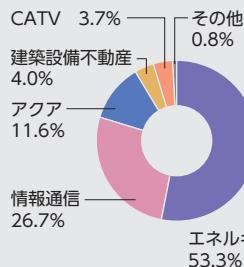
▼ 購入理由



▼ 保有方針



Q2 期待している事業セグメントを教えてください。



- エネルギー事業は、人々のライフラインになる事業であり、これを行っていることは企業の存続性と安定につながるため。
- DX時代において情報通信系の分野は必須であり、顧客のニーズに応えるソリューションの提案ができる素地がある。
- アクア事業において、他社もたくさん参入しているが、水は買う時代となった今だからこそ、如何に顧客を増やせるかが重要。

株主優待品について

当社では、3月31日現在および9月30日現在の株主名簿に記載された1単元株(100株)以上ご所有の株主の皆様を対象に年2回の株主優待を実施しています。

優待品は、お持ちの株式数に応じて下記のコースからお選びいただけます。

コース	100株~299株	300株~4,999株	5,000株以上
A コース アクア商品 飲料水宅配サービス「おいしい水の宅配便」 「うるのん」の全商品12Lボトル or 「うるのん」 「富士の天然水さらり」 500mlボトル	2,080円相当 ×1本	4,160円相当 ×2本	8,320円相当 ×4本
B コース QUOカード	500円分	1,500円分	2,500円分
C コース 「ヴォーシエル」 「葵」お食事券	1,000円分	3,000円分	5,000円分
D コース グループ会員サービス TLCポイント (https://tlc.tokai.jp)	1,000ポイント	2,000ポイント	4,000ポイント
E コース 格安モバイルサービス LIBMO (リブモ)	2,100円分 6か月間 350円/月割引	5,100円分 6か月間 850円/月割引	11,280円分 6か月間 1,880円/月割引

さらに!

各コース共通で

グランディエール プケトーカイ
婚礼10%+10万円割引券
(割引上限 20万円)



「ヴォーシエル」
「葵」お食事20%割引券
(12枚つづり)



IRメール配信



サービスのご案内

当社の最新のIR情報をメールでお届けするサービスです。ぜひご登録ください。

ご登録はこちら ▶ <https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/magazine.html>

